

2007年度事業計画書

特定非営利活動法人 柔道教育ソリダリティー

1 事業活動方針

定款第3条に則る活動

定款第3条 (目的)

この法人は、柔道の国際的普及、振興、柔道による文化交流、異文化理解の推進、柔道による青少年育成に関わる事業を行い、柔道を通じての国際理解、子どもの健全育成を図ることを目的とする。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

柔道の国際的普及、振興に関する事業

ア 柔道用具(リサイクル柔道衣・畳)支援事業

・内容 IJF(国際柔道連盟)教育コーチング委員会、全日本柔道連盟及び東海大学と協力して世界の柔道発展途上国へ柔道用具(リサイクル柔道衣・畳他)の支援を行なう。

・日時 通年

・場所 東海大学

イ 柔道文献の翻訳事業

・内容 柔道に関する文献を翻訳する。例えば、「姿三四郎」英訳については、現在ブラジルにて国際交流基金の支援事業としてポルトガル語へ翻訳中だが、当法人も英訳支援を検討中である。

・日時 通年

・場所 日本

ウ 教材制作事業

・内容 教育教材シリーズの一環として講道館、全日本柔道連盟と協力し教育教材を作成する。

a) 柔道の「形と歴史」DVDの制作をする。

b) その他

・日時 通年

・場所 未定

エ 外国からの指導者・選手受入支援事業

・内容 講道館及び全日本柔道連盟、IOC(国際オリンピック委員会)、IJF(国際柔道連盟)、外務省や国際交流基金、JICA(国際協力事業団)、日本武道館等と協力して外国人指導者を受け入れる。

・日時 通年

・場所 講道館、全日本柔道連盟、東海大学ほか

オ 外国への指導者派遣事業

・内容 講道館及び全日本柔道連盟、IOC(国際オリンピック委員会)、IJF(国際柔道連盟)、外務省や国際交流基金、JICA(国際協力事業団)、日本武道館等と協力して柔道指導者(学生ボランティア含む)を海外派遣する。

・日時 通年

・場所 世界各国

カ 国際柔道研究者会(IAJR)支援事業

・内容 2007年9月に行われる、国際柔道研究者会議ならびに、国際柔道研究者会の活動を支援し、世界の柔道研究者のネットワークの構築、若手研究者の育成を図る。

・日時 2007年9月

・場所 ブラジル(リオデジャネイロ)

キ 会報誌の発行

・内容 柔道の国際的普及活動等を会員や一般市民に広報するための会報誌を発行する。

・日時 年2回

・場所 東海大学

ク 講演会事業

- ・内容 当法人の活動にそった講演会の開催をする。
 - a) メディアコミッショナーMr. Michel Brausse による「フランスにおける柔道、その普及と人気の秘密」についての講演会を開催する。
 - b) その他
- ・日時 a) 2007年8月27日
- ・場所 講道館

柔道による文化交流、異文化理解の推進事業

ア 青島「中日友好青島柔道館」支援事業

- ・内容 外務省「草の根無償支援協力」による「中日友好青島柔道館」の日本的な企画運営のための助言や支援をする。
- ・日時 通年
- ・場所 中国青島市

イ 中国男子柔道チーム支援事業

- ・内容 民間企業の支援を受け、全日本柔道連盟、中国柔道協会と協力し、2008年の北京オリンピックまで、中国男子柔道チームを日本に招致する。
- ・日時 2007年3回
- ・場所 講道館・東海大学・他大学柔道部など

ウ 海外柔道普及団体支援事業

- ・内容 支援要請を受けて検討する。
- ・日時 未定
- ・場所 未定

柔道による青少年育成事業

ア 柔道教室

- ・内容 東海大学望星学塾と連携し、少年少女柔道教室運営を支援する。
- ・日時 通年
- ・場所 東海大学望星学塾及び町道場

イ 柔道シンポジウム(国際交流)

- ・内容 柔道・友情・平和にそったテーマでシンポジウムを開催する。
 - a) カナダ(カムループス市)柔道指導者及び練習生のために、シンポジウムを開催する。
 - b) その他
- ・日時 通年 (a. 2007年9月下旬)
- ・場所 東海大学望星学塾